職場からの挑戦

「優秀賞」を活力に

静岡支部

11月に開催された第27回政策発表会で静岡支部が発表した「土砂崩れに見る災害対策」が優秀賞を受賞することができました。

この発表に至ったのは2014年10月に東海道線が土砂崩壊によって10日間寸断されたことから、静岡支部では「土砂災害検証プロジェクト」をスタートさせたことです。

11月に開催された第27回政策発表会で静岡支部が発表した「土砂崩れに見る災害対策」が優秀賞を受賞することができました。

この発表に至ったのは2014年10月に東海道線が土砂崩壊によって10日間寸断されたことから、静岡支部では「土砂災害検証プロジェクト」をスタートさせたことで災害対策を提言することにしました。土石流災害に限らずトンネル、橋梁、海岸保全設備などの調査や落石や強風等の警告装置の状態など、組合員が足を使って現地踏査を行ない、危険箇所や危険の度合いを把握するとともに、駅、検修、保全、運転などそれぞれの立場の専門知識を活用して調査しました。特に運転士からは「あそこはいつも水が噴き出していて危ない」とか「トンネルの中に岩がせり出していて危ないんじゃないか」など、生々しい声が次々と出てきました。また、営業支店からも当時ドライバーから「何番線と言われてもどこに持ち込めばいいのか分からない」と言われた苦情や、緊急代行時の苦労話など現場の声もいただきました。これらをもとにメンバーで政策提言を作り上げました。議論はさらに飛躍し、歩道橋の命名権を取得するネーミングライツを活用して、静岡貨物駅を利用し易くしようと増収までアイディアが広まりました。

この取り組みによって静岡支部の結束がつくられ、若い役員も育っています。「優秀賞」の受賞を活力にして、これからも仲間の和を大事にして頑張っていきます。

新たな力を追い風に！

東海地本青年部

東海地本青年部では愛知・稲沢機関区分会の組織変更に伴い、この度2月18日に検修の愛知機関区分会青年部、3月6日に運転の稲沢機関区分会青年部が結成されました。ともに結成委員会は盛大に行われ、新たに役員になった青年部員もやる気に満ちており、交流会も含めて活発な意見や議論がなされ、今後の活動が期待出来るものとなっています。

また、今回の結成委員会は春闘期間中であったため、早速本部・本部青年部への檄色紙の取り組みを行いました。この結成委員会に際して全国からの檄布・檄物資などのご支援を頂きました事に心から御礼を申し上げます。新たにスタートを切った2つの分会青年部の今後の活動を暖かく見守って下さい。

さて、東海地本青年部は日頃から様々な活動を行なっていますが、とりわけレクレーション活動に力を入れています。東海地本青年部が発祥で歴史の長い「車」レク、「マチャリGP」レクなどの他、新たに「工場見学」レクを開催し、常に青年部が青年部らしさを発揮出来る取り組みを考え活動しています。

しかし、近年では東海地本青年部でも全国の例に漏れず、若年退職、脱退などの問題が相次いで発生しています。また、新入社員が入って来ない中、各職場の青年部員は過酷な状況で業務をこなしており、青年部員が疲労しきっている現実を肌身で感じています。

この様な状況を乗り越えるため、様々な活動を通じて信頼される組織を目指す事、青年部らしさを全面に出し『たしろかおる応援プロジェクト』貫徹に向けて頑張っていきます！

全国サークル協 全国一斉 ボウリング&ゴルフ 結果発表

ボウリング （スコアは２ゲーム合計）

シニアの部			
1位	佐々木孝昭	広島支部	366
2位	今泉長人	福島支部	357
3位	力田勇	宇都宮支部	341

ミドルの部			
1位	小関慎一	五稜郭支部	434
2位	原武志	稲沢支部	378
3位	倉林豪	広島支部	378

ヤングの部			
1位	高山勝	札幌支部	386
2位	小林勇渉	札幌支部	378
3位	菊田俊宏	宇都宮支部	374

ファミリーの部			
1位	小笠原忠行	旭川支部	335
2位	小関陵太	五稜郭支部	281
3位	澤谷由理江	旭川支部	264

ゴルフ

		地本	グロス	ハンデ	ネット
1位	森谷純次	北海道	83	13.2	69.8
2位	星忠雄	北海道	91	19.2	71.8
3位	冨樫貢	北海道	78	6.0	72.0
4位	大森重治	関　西	82	9.6	72.4
5位	板垣倉一	関　西	106	33.6	72.4

千葉書記お疲れ様でした！

貨物労組本部で15年間書記を務めた千葉さんが1月をもって退職となりました。今までありがとうございました!!

Young Style あれから5年

東北地本青年部　青年部長　**村田洸太朗**

2011年3月11日14時46分、マグニチュード9.0の巨大地震が私たちを襲い、この地震により発生した津波によって多くの命や財産を奪われ、更には福島第一原発事故も発生した。この東日本大震災から5年を迎えました。震災時には全国から心温まる物心両面での激励行動に改めて感謝いたします。

発生時は余震が多く、実家にいる家族と連絡が取れず、一人暮らしが多かったので、皆で一人の家に食料などを持ち寄って不安な夜を過ごしたのを覚えています。私たちは今、震災以前のように当たり前に生活できていますが、未だに全てが復興したとは言えません。福島県・浜通りを走るJR常磐線は全線開通しておらず、私が住んでいる福島県郡山市も除染作業は終わっていません。勤務している郡山車両所もようやく職場の敷地を除染作業しているところです。原発から避難してきた住民は今も仮設住宅に住んでおり、地元に帰れず、更には風評被害も未だにあります。

あれだけ被害が大きかった東日本大震災。当時は全国ニュースで毎日のように被害状況や原発事故が報道されてましたが、現在はどうでしょうか？月日が流れて忘れ去られてはいないでしょうか。毎年3月11日頃になれば、特集で取り上げられるだけではないでしょうか。震災当時は子供たちが外で遊べない日が続きましたが、今は外で遊んだり、運動会等も外で行っています。震災以降福島では、天気予報の後に福島県内市町村の空間放射線量の最大値と最小値が放送されていますが、放射線量の値を見てもよく分からないし、私たちや子供たちにどのような影響があるかも分かりません。ですが、事故が起きた原発を前に人間の力は無力であり、生活や地球環境に甚大な影響を与えてしまうことはハッキリしました。不安はみんなあるだろうし、このような事故を2度と発生させないためにも脱原発を推し進めていかなくてはなりません。脱原発・平和な暮らし・私たちの明るい未来を自ら手に入れる為に「たしろかおる応援プロジェクト」の貫徹を共に頑張りましょう！

《JRセット共済からお知らせ》

パンフレットの誤表示のお詫びと訂正

誤
ドナー支援金
10,000万円 （病気入院日額の10倍）

↓

正
ドナー支援金
10,000円 （病気入院日額の10倍）

鉄道ファミリーから２０１６春募集のご案内

鉄道ファミリーはＪＲ総連・ＪＲ貨物労組の賛助団体です！

★ＪＲ積立年金・・・明治安田生命保険

支給開始年齢の引き上げが議論されている今こそ！

有利な利率にて運用！ 1.25%

※あくまでも予定利率であり、変動することがあります。

“若い組合員には、教育・住宅資金・退職後の公的年金の不足分を補い豊かな生活資金に！”

掛金は『月払い　3口3,000円から』『半年払い　1口10,000円から』『一時払い　1口100,000円から』

例えは・・・

◆月払い　5,000円⇒払込掛金30年間で1,800,000円が・・　2,095,000円（利子295,000円）に

◆半年払い　10,000円⇒払込掛金30年間で　600,000円が・・　726,000円（利子126,000円）に

※掛金には制度運用するための運営事務費が含まれています。

◆申込み後のスケジュール　（但し、募集期間以外でも随時お申込みは受付致します。）

春募集期間 4月1日～4月30日 → 第1回目の掛金引落し 7月27日 → 加入日（責任開始日） 8月1日